

プロジェクト課題活動実績

課題名: 玖北地域における持続可能な営農体制の構築

岩国農林事務所農業部 チーム員: 棟居、渡辺、唐津、陶山、平田_三、岡本、吉村

〈活動事例の要旨〉

岩国市北部の中山間地域の実情に応じた、営農組織の活動強化および新たな集落営農法人の育成を推進するとともに、既存集落営農法人に対しては、担い手確保と経営改善に向けて支援を行った。また法人の高齢化、後継者不足が懸念される中で、互助組織である集落営農法人連携組織の設立および活動を支援した。

1 普及活動の課題・目標

(1) 課題

- 営農体制の構築及び法人化支援
- 集落営農法人の運営及び連携支援

(2) 目標 (平成 28 年度)

- 多様な担い手 (人・農地プランの中心経営体) の経営面積 195.2ha
- 集落営農法人連携組織 1 組織

2 活動の内容

- (1) 任意組織、集落等に対し、営農体制の見直しや法人化に向けて提案を行った。
- (2) 集落営農法人の理事会等へ出席し、後継者対策や経営安定に向けての課題等の把握を行い、法人ごとに対策の提示等を行った。複合化の一環として酒米やタマネギ、キャベツ等の作付計画と栽培への指導を行った。
- (3) 担い手確保やコスト低減等、各法人共通の課題について連携して取り組むため、同町内の集落営農法人等での連携について検討した。

3 活動の成果

- (1) 今後の営農について提案を行った結果、法人化に向けて合意形成まで到達した組織もできた。
- (2) 既存法人では、将来の運営に向け、新規就農者の受け入れ、酒造好適米、飼料用米の導入など、各々の課題に応じた対策が検討されるようになった。
- (3) 法人間の連携組織 (同町の 5 組織) が設立され、資材の共同購入、米や加工品の販売等が施された。
 - 多様な担い手の経営面積 195.2ha、集落営農法人連携組織は平成 27 年 7 月設立

4 今後の普及活動に向けて

重点集落を設定し、営農体制を見直すとともに、既存集落営農法人に対しては営農計画等の作成支援を行い、経営の安定化を図る。また法人連携組織に対しては、引き続き連携強化を図り、機械共同利用、加工品等の商品開発と販売支援を行う。



法人連携組織の設立総会
(H27.7 美和公民館)



既存法人での課題検討
(H27.7 美和町)